

## そのとき桜隊は……

戦争のさなか、戦況の悪化とともに、劇団は壊滅状態にありました。国の方針に沿わない劇団は、強制的に解散させられ、100名以上が検挙されました。芝居を続けるには、移動演劇連盟に加盟するしかありませんでした。

1944年に入ると、連盟に加盟している劇団は、地方への疎開を強いられます。その疎開地を拠点として、全国の工場、学校、軍へと慰問の公演を続けたのです。

そして1945年8月6日、桜隊は広島で被爆し、そこに居合わせた劇団員9名全員を失ったのです。

## 桜隊原爆忌のあゆみ

- 1946年9月17日 築地本願寺にて移動演劇連盟や演劇界、映画界と一般などによる合同慰霊祭が営まれ、碑建立の話が出る。小山内薫碑のある多摩墓地や友田恭介の墓所九品仏、築地本願寺などが候補に挙がり、建立費も募集されたが、旧円封鎖やインフレなどにより立ち消えとなる。
- 1952年9月 9人の遺骨を預かる徳川夢声が羅漢寺に相談。住職の尼僧が同意、寺にあった大きな石と台石に將軍吉宗の腰掛け石が提供された。碑銘「移動劇団さくら隊原爆殉難碑」は徳川夢声が書き、背面には柳原白蓮の短歌「原爆のみたまに誓ふ人の世に浄土をたてむみそなはしてよ」が刻まれた。
- 1952年12月8日 除幕式。遺族、演劇人、一般など多数参列。平和の鐘が鳴り、尼僧20余人読経の中で除幕。9人の分骨が納められた。
- 1953年8月6日 碑の法要。夢声渡米中のため、白蓮が主催。安井誠一郎東京都知事ら参列者およそ200名が焼香した。
- 1975年8月 鎌倉にできた丸山定夫碑前に参集した16人が準備会世話人となり、「桜隊原爆忌提唱」の文を作り入会募集を始める。
- 1975年10月19日 50余名の参加者を得て追悼会を開催。
- 1977年の三十三回忌には、参加者は80余名。
- 1985年頃から、参加者は100名を超すようになる。
- 1988年 新藤兼人監督映画「さくら隊散る」完成・上映。この頃から参加者は百数十名となる。
- 1993年 広島以外で亡くなった岡井恵子、高山象三、仲みどりの3人の名が原爆慰霊碑の名簿に書き加えられ、9人全員が原爆の地広島に揃う。
- 2006年 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館に9名全員を登録。

### 【桜隊原爆忌の会歴代会長】

藤原釜足・佐々木孝丸・小沢榮太郎・滝沢修・浜村純

## 桜隊原爆殉難者追悼会

### 《プログラム》

2010年 **8月6日** (金) 午前10時30分～午後3時

午前10時30分～ 碑前祭、記念撮影

11時15分～ 歓談、食事

12時00分～ 追悼会

◎開会 総合司会／浦吉ゆか (桜隊原爆忌の会世話人)

◎挨拶 桜隊原爆忌の会会長・中村美代子

◎広島市長メッセージ紹介 ご遺族・関係者紹介

◎朗読詩「戦場」(作・花森安治) 朗読：野沢由香里(俳優・青年座)

◎ビデオ証言「丸山定夫を看取って」

— 諸岡千恵子さん(元珊瑚座座員)に聞く

インタビュー：堀川恵子(テレビディレクター)

◎桜隊全史(連続講座③)「移動演劇《桜隊》の最期」

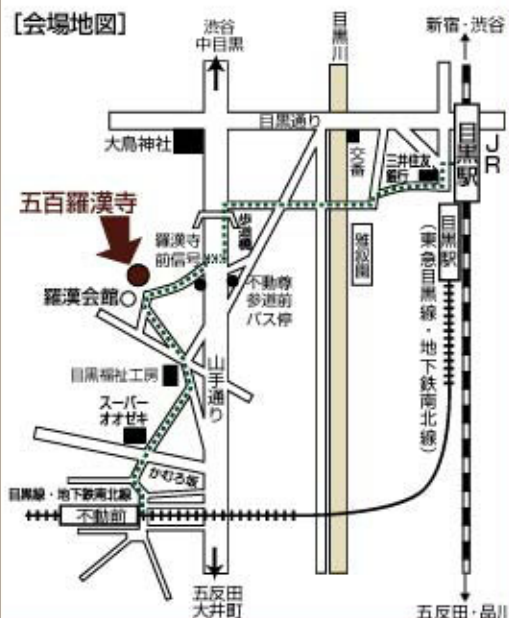
お話：青木笙子(作家) 《特別参加》早坂 暁(脚本家・小説家)

●参加費 3,000円 高校生以下1,000円(献花料・記念写真・昼食代含)

●会場 桜隊菩提寺 目黒 五百羅漢寺

東京都目黒区下目黒 3-20-11 ☎03-3792-6751

### 【会場地図】



- \*五百羅漢寺へは、①JR目黒駅から徒歩15分。
- ②目黒線・地下鉄南北線「不動前」から徒歩約10分。
- ③目黒、中目黒からはタクシーで1区間。
- ④東急バス「渋谷41」渋谷⇄大井町(中目黒経由) 渋谷駅からは南口ロータリー33番乗り場。「不動尊参道前」下車1分。

主催：桜隊原爆忌の会 会長 中村美代子

※お問い合わせ・お申し込みは、桜隊原爆忌の会世話人事務局 ☎103-0016 東京都中央区日本橋小網町18-16-701

☎03-3667-1890 ☎03-3667-1891 URL: <http://www.photo-make.co.jp/sakura.html> E-mail: [sakuratai01@yahoo.co.jp](mailto:sakuratai01@yahoo.co.jp)

◆会場準備の都合上、必ずお申し込みのうえでご参加下さい。当日ですと入場できない場合があります。事務局不在の場合のため、ファックスが確実です。

◆上記ホームページから、あるいはメールアドレス宛にお申し込みいただけます。いずれの場合も、ご氏名、ご住所、お電話番号を必ずお知らせ下さい。